

事業実績報告書

様式2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	E-17	講座名	実験！体験！かんきょうラボ
記載日	2019/12/5	団体名・企業名	名古屋市環境科学調査センター
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>水質、大気、生物などの各分野において、普段何気なく接している環境を科学的な視点から観察した。</p> <p>「きれいな水って？～にごりについて考える～」では、水質の評価項目の1つである「水にごり」を自作の透視度計を用いて測定した。自主的な環境調査に活用してもらうために、作成した透視度計を持ち帰ってもらった。</p> <p>「PM2.5と気候変動の関わりを考える」では、最初にPM2.5が気候変動に与えるメカニズムの解説を行った。実際にフィルタに捕集したPM2.5中の水抽出物について光の吸収能を調べ、目には見えない大気汚染物質と地球温暖化との関わりについて理解を深めてもらった。</p> <p>「最強?!クマムシを「樽化(たるか)」して観察する」では、クマムシの生態の解説とともに、クマムシを樽化させて耐性実験を行い、クマムシの生命力のすごさを実感してもらった。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
透視度計による水質測定の様子		樽化したクマムシを観察する様子	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>講座のねらいである「市民の方々が身近な環境・自然について関心を持ち、実験等を基本とした体験学習を通じて科学の視点から環境を考えていただく機会の提供」については、概ね達成できたと考える。</p> <p>60代以上の参加者が多いので、より多くの高校生や大学生が積極的に参加してもらえるような企画や案内方法を検討したい。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・簡易測定器具制作から現地による実測が楽しかった。 ・説明がわかりやすく作るのも楽しかった。 ・環境汚染について身近に感じられるようになった。 ・難しかったけど、少し理解することができた。自分でできる事から少しずつ勉強したいと思っている。 ・顕微鏡でクマムシの実物が動いているのを見られて楽しかった。樽がどういう状態がよくわかった。 ・小さな生物がこんなに強いことを実感できておもしろかったです。 			